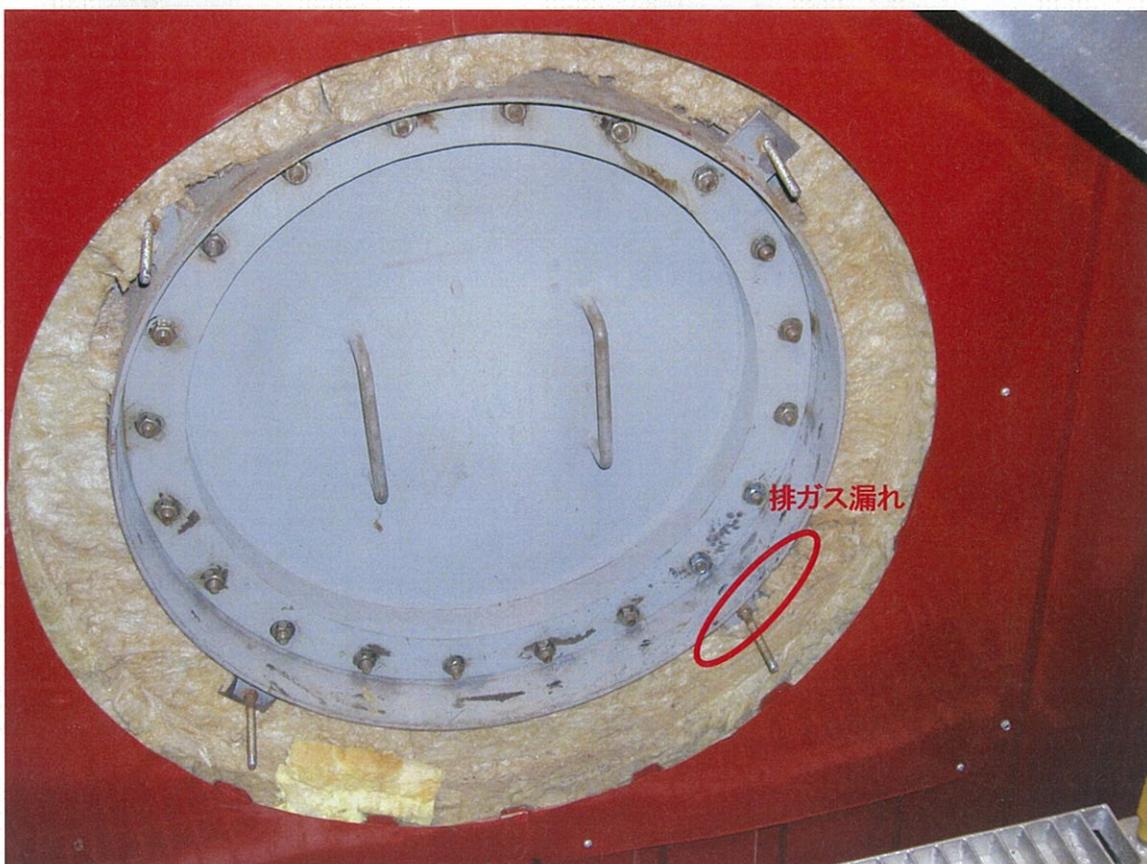
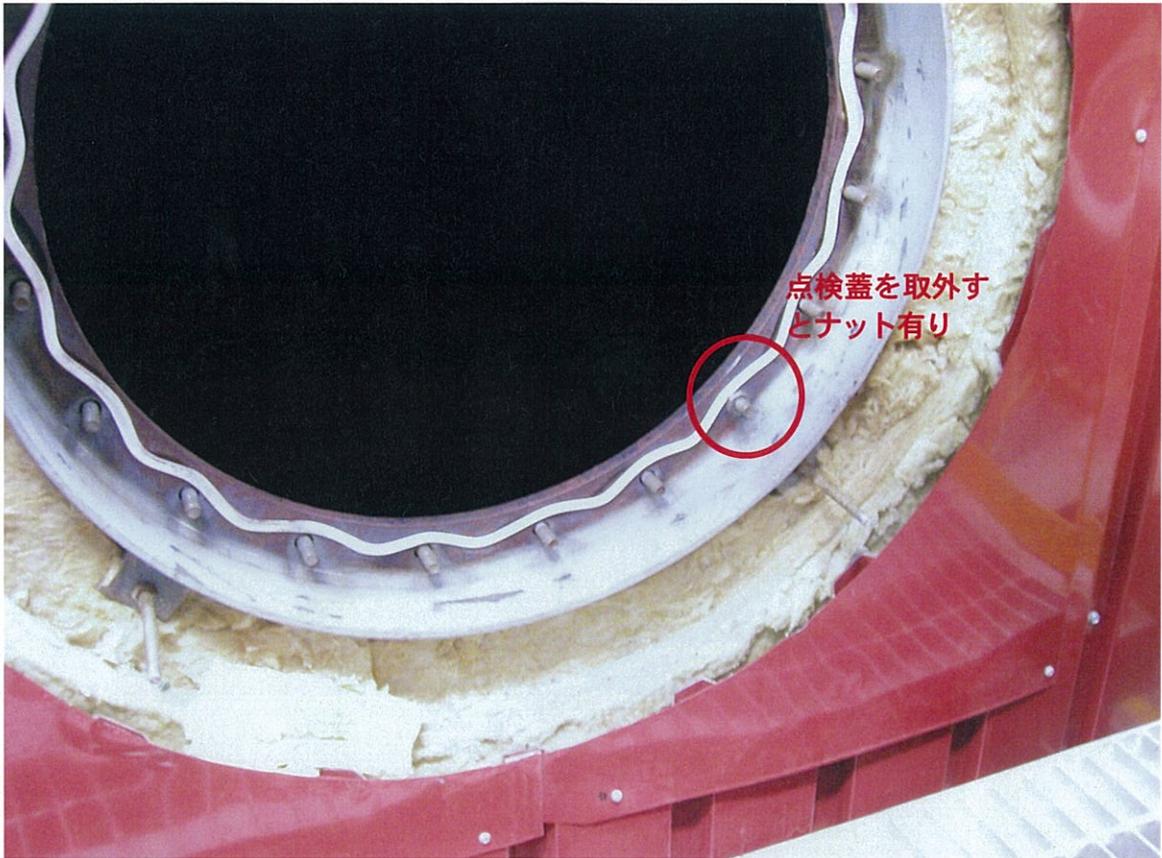


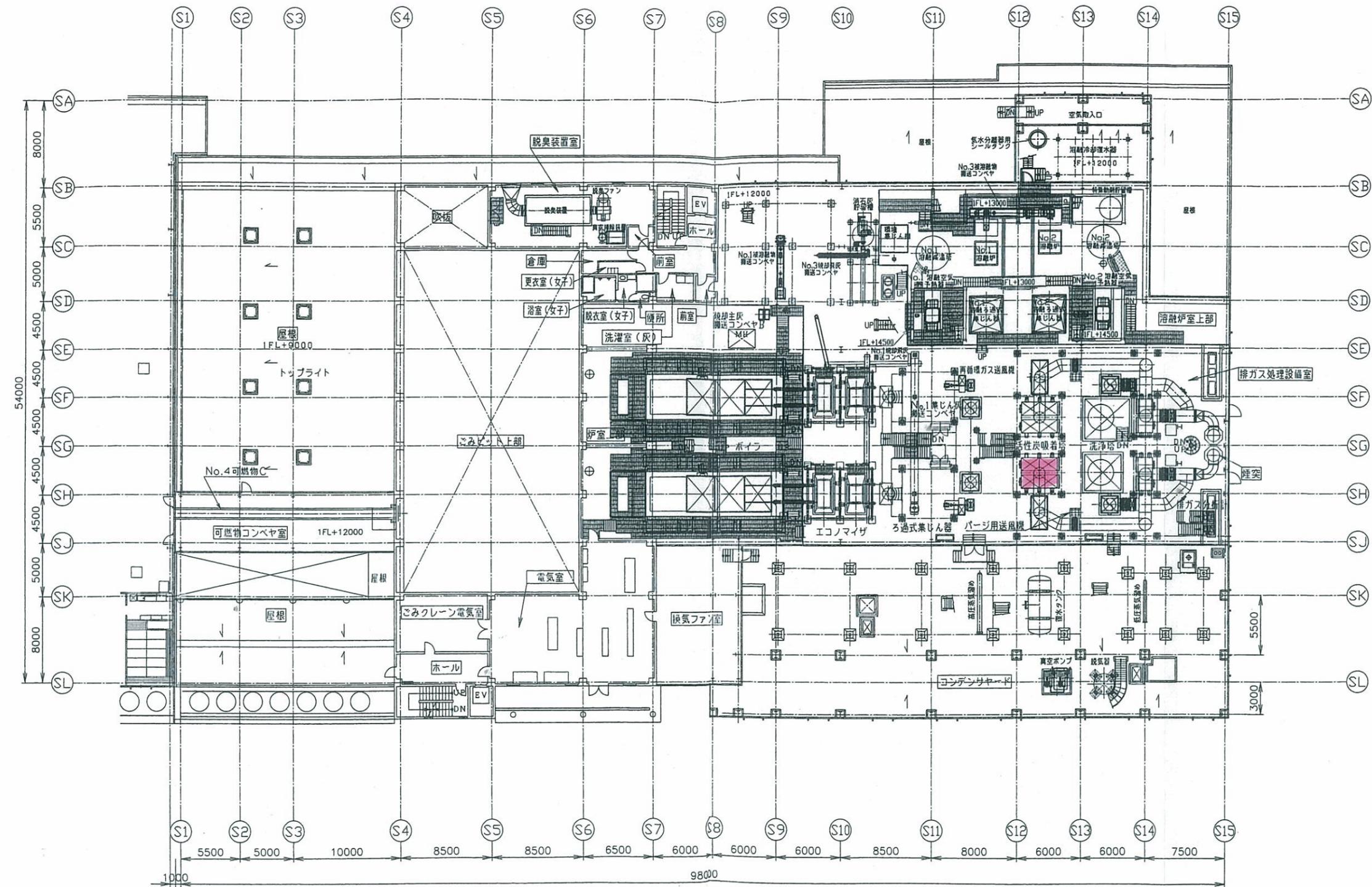
【別添様式 2：不適合事象完了報告書】

| | |
|-----------------------|--|
| 不適合事象の種類 | 2号炉活性炭吸着塔上部点検蓋より微量の排ガス漏れ（区分3） |
| 不適合事象発生場所 | 焼却施設棟 4F 活性炭吸着塔 |
| 不適合事象発生日時 | 平成 22年 4月 16日 19時 30分 |
| 1) 不適合事象の発生概要 | 2号炉を4月15日の18時から立ち上げ、16日の10時13分にごみ投入を開始した。ところが、19時30分頃の現場巡視点検の際、活性炭吸着塔上部点検蓋から微量の排ガス漏れを発見し、直ちにごみ投入を停止し、2号炉の立ち下げ作業に入る。 |
| 2) 不適合事象の原因 | 3月15日から24日にかけて施工した活性炭カートリッジ取替作業（平成21年度施設点検整備業務）後の復旧作業の際、内蓋取付面にナットが残っていることに気づかず復旧したため、内蓋が浮いた状態（変形）となり、微量の排ガスが漏れたものと判明。 |
| 3) 被害状況 | ①設備・装置の被害状況：無 ②人的被害状況：無 ③二次被害状況：無 ④周辺環境への影響：無 |
| 4) 不適合事象発生時の対応等 | 4月17日の8時頃立ち下げが完了したのち、内蓋を取り外し工場へ持ち帰り変形補修。その後、パッキン及びボルト取替し内蓋復旧。 |
| 5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時 | 施設稼働停止期間： 日（ 時間） / 低負荷時間： 時間 復旧日時：平成 22年 4月 17日 16時30分 |
| 6) 不適合事象の調査及び防止対策等の状況 | ①不適合事象対策本部の設置： 無 ②周辺環境調査の実施： 無 ③不適合事象調査委員会の開催： 無 ④復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 1) 品質管理体制の再構築及び品質管理内容を追加することにより、人為的ミスの発生原因を構造的になくす。 2) 業者に対する教育を徹底する。 3) 巡視点検（チェックシート等により）を実施することにより、不適合事象の防止に努める。 |
| 7) その他 | |

2号炉活性炭吸着塔上部点検蓋からの排ガス漏れ（平成22年4月16日）に伴う
原因確認状況写真（平成22年4月17日）







リサイクルプラザ 焼却工場
EXP.

| | | | |
|---|---------------------|-------|---------------------------------------|
| <small>本図面及びこれに含まれる一切の情報の所有権は、当社に帰属します。当社の文書による条件を満たす場合を除き、必ず次の事項を守ること： (1)複製・引用・その他にこれに類似する行為は行わない。(2)第三者に開示しない。(3)指定された用途以外に使用しない。</small> | | | |
| 工事番号 | EN-0331 | 図注文先 | 猪名川上流広域ごみ処理施設組合設 |
| 承認 | 面野 08.10.10 | 工事名称 | ごみ処理施設建設工事 |
| 監査 | 守吉 08.10.8 | 図面名称 | (焼却工場) 3階平面および機器配置図 (IFL+12000) |
| 設計 | 中野 08.10.8 | | |
| 製図 | | | |
| 設計部署 | 第一工務部 | | |
| JFE環境ソリューションズ・前田建設 特定建設工事共同企業体 | 尺 1:200 A3=1:400 | 角法 | 標準図番号 WB-C15-A000-040 |
| | | 出図年月日 | 製図番号 |